

2021年9月1日
MSD株式会社

2021年8月31日 厚生労働大臣記者会見

HPV ワクチンの積極的な接種勧奨再開に関する厚生労働大臣の発言について

MSD 株式会社のステートメント

2013年6月14日に、ヒトパピローマウイルス(HPV)感染症の定期接種に関して、定期接種の位置づけを変更しないまま、HPV ワクチンの積極的な接種勧奨を一時的に差し控える措置が講じられてから、8年以上が経過しています。

2021年8月31日の厚生労働大臣記者会見において、厚生労働大臣が8年以上の歳月を経てようやく積極的な接種勧奨再開に向けた見通しを表明されたことは、MSDとして一歩前進したものと受け止めています。

一方、MSDとしては厚生労働省と緊密に協力し、本年10月の積極的な接種勧奨の再開に向けてあらゆる準備を進めてきました。HPV ワクチンの有効性および安全性を再確認する国内外の科学的エビデンスはすでに十分蓄積されており、このような状況下において、今回、厚生労働省が検討の期限を明示しないまま、積極的な勧奨再開の事実上の先送りともとれる状況となったことを遺憾に思い、厚生労働大臣が会見で言及された審議会における一刻も早い審議の開始を強く願います。

MSDとしては引き続き、子宮頸がんをはじめとする HPV 関連疾患から日本の女性を守るために、HPV ワクチンの積極的な接種勧奨の一日も早い再開を強く求める姿勢を貫いてまいります。

加えて、積極的な勧奨がされなかったために過去8年にわたって定期接種の機会を逃した方々に対する施策についても、厚生労働省には具体的な計画を速やかに示していただくことを強く要望いたします。